

資料①

第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画
の進捗状況について
平成31年度（令和1年度）

令和2年3月

胎内市

— 目 次 —

- 1 施設ごとの入込客数について . . . 1～2 頁
- 2 基本施策の進捗状況について . . . 3～4 頁
- 3 施設ごとの施策と進捗状況 . . . 5～12 頁
- 4 返地事業債を活用した計画（予定） . . . 13～14 頁

1 施設ごとの入込客数について

第2次樽ヶ橋エリア活性化委基本計画・実施計画における樽ヶ橋エリアの施設ごとの目標値と現状値は以下の通りです。

1-1 計画目標値<H30～H34年度までの5年間> ※入込数（人）

観光地点名	現状値					目標値
	H29年度	H30年度	H31年度 (R1年度)	H32年度 (R2年度)	H33年度 (R3年度)	H34年度 (R4年度)
観光交流センター	53,160	51,000	51,500	51,500	51,500	51,500
樽ヶ橋遊園	34,140	35,000	37,000	39,000	40,000	41,000
黒川郷土文化伝習館	3,340	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100
胎内市美術館	4,910	5,800	5,900	6,000	6,100	6,200
クアハウスたいない	101,980	109,000	111,000	113,000	115,000	117,000
越後胎内観音	19,590	21,000	21,500	22,000	22,500	23,000
櫛形山ハイキング	6,970	7,000	7,500	8,000	8,500	9,000
たるが橋里山食堂	8,660	13,000	15,000	16,000	16,000	16,000
その他(シクルト記念館)	3,920	3,900	1,200	1,200	1,200	1,200
樽ヶ橋エリア合計	236,670	249,400	254,400	260,600	264,800	269,000

1-2 H31年度（R1年度）の現状値 ※入込数（人）

観光地点名	目標値	現状値	達成率	主な理由
	H31年度 (R1年度)	H31年度 (R1年度)		
観光交流センター	51,500	53,390	107%	新規で登場したマンホールカード [※] の配布が好調であった。
樽ヶ橋遊園	37,000	47,900	129%	利便性が高くなったこととイベントが好調であった。
黒川郷土文化伝習館	3,800	3,510	92%	目標に満たなかったが美術館との相乗効果があった。
胎内市美術館	5,900	6,200	105%	各展示会やイベントが好調であった。
クアハウスたいない	111,000	100,680	91%	夏季以外で会員の更新が減少している。
越後胎内観音	21,500	21,400	99%	ほぼ目標値を達成した。特に冬季の入込が多かった。
櫛形山ハイキング	7,500	10,210	136%	暖冬の影響もあり冬季の利用者が多かった。
たるが橋里山食堂	15,000	8,210	55%	GWは好調であったが他月は入込を伸ばせなかった。
その他(シクルト記念館)	1,200	420	35%	通年開館を止め、予約制にしたため大きく減少した。
樽ヶ橋エリア合計	254,400	251,910	99%	目標値に満たない施設もあったが、エリア全体での達成率は99%であり、ほぼ目標値を達成した。

※H31年度（R1年度）の現状値は R2.2 末時点での見込値

1-3 現状値の H31 年度（R1 年度）の評価・分析

樽ヶ橋エリア全体の入込数は、H31 年度（R1 年度）の目標値 254,400 人に対して、現状値が 251,910 人、達成率が 99%となっており、目標をほぼ達成した。主な要因としては、10 連休となった GW の入込が各施設とも順調であったことと、記録的な暖冬により冬季間も入込数が大きく減らなかったことが要因と考えられる。

好調だった施設としては樽ヶ橋遊園と胎内市美術館があげられる。樽ヶ橋遊園においては、今年度新設された休憩所「たるる」の稼働が順調で、新しくなったトイレや多目的に利用できる芝生広場が好評を得ている。また屋根付き広場や屋内休憩スペースを活用することで新たなイベント等の開催が可能となり、今後の改修計画と合わせさらなる入込数の増加が期待できる。胎内市美術館においては、来館者を飽きさせない様々な展示会や大小様々なイベントが企画され、順調に入込数が増加している。

一方、クアハウスにおいては、高齢化による会員数の減少や新規会員の伸び悩みにより、目標値を下回る傾向が続いており、新規会員の獲得に向けた取り組みに重点をおき、エリア全体でもサポートできる体制を検討していかなければならない。

里山食堂においては、来年度（R2 年度）から新たな指定管理者による運営が始まることで、樽ヶ橋エリアの食事処として期待するとともに、施設間でのサポートと協力関係を築き、エリア全体への誘客に繋げていく必要がある。

2 基本施策の進捗状況について

第2次樽ヶ橋活性化委基本計画・実施計画における樽ヶ橋エリアの基本方針実現に向けた基本施策の進捗状況は以下の通りです。

基本施策① 観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくりの推進

主な 施策内容	観光交流センターを観光交流・観光情報の拠点として、さらなる情報発信の充実を図るとともに、そのための人員体制及び人材育成を強化します。
------------	--



評価・課題 ○・△・×	<p>○胎内市観光協会のカメラ女子によるSNSでの情報発信の他に、新たなツールとして、FMラジオ（FMしばた）による情報発信を今年度から開始した。毎週水曜日に樽ヶ橋エリアをはじめ、市内のイベントやおすすめポイントなどを「道の駅胎内」からゲストとの対談方式で情報発信している。多くのリスナーに魅力や情報を伝える手法として今後も期待される。</p> <p>△観光協会が主体となり専門知識を有するディレクターの前段として、伴走型のサポーターの導入を検討し、令和2年度に配置するための準備を進めた。</p>
----------------	---

基本施策② 自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携

主な 施策内容	観光資源を有効に活用し、エリアの自然・歴史・文化・芸術・食・産業などの魅力を誘客に繋げるため、「第2次胎内市観光振興ビジョン」による連携の仕組みを活用して、定期的に委員会を開催しながら、市内の事業者や施設間の情報共有と連携を図ります。また、イベントや体験等を活用したエリア全体での集客力の向上に取り組めます。（体験コースの設定、着地型ツアーとの結び付けなど）
------------	---



評価・課題 ○・△・×	<p>○樽ヶ橋エリアの資源を活用した魅力を発信するため、着地型のツアーや各イベント（楡形山トレッキングツアー、楡形ウインドトレイル、健康ウォーキング等）を開催した。今後も着地型のツアーやイベントを企画し樽ヶ橋エリアの資源を活用していく。</p> <p>○樽ヶ橋エリア施設間連絡会議を毎月1回開催し、情報共有の他にイベント内容のアイデア出しを行い、樽ヶ橋遊園においては、夏イベント（七夕、カブトムシハウス）や冬イベントなど、新しいイベントが企画され集客力の向上に繋がった。今後も積極的な意見交換で連携を図り、エリア全体の集客力の向上に取り組んでいく。</p> <p>○観光ビジョンによる連携の仕組みにより、樽ヶ橋エリアの他、市内各地区、各施設と連携しつつ、春夏シーズン・秋冬シーズンを軸に企画等を展開した。</p>
----------------	--

基本施策③ エリアへの訪問者の満足度の向上のための人材育成

主な 施策内容	エリアの各施設の担当が訪問者を気持ちよく迎え入れることができるように、観光ボランティアを含めた観光ガイドなどの人材育成を実施します。
------------	--



評価・課題 ○・△・×	△今年度においては、ガイド（観光協会に所属していないボランティア含む）の方々とともに「樽ヶ橋散策と馬頭観音祭り」、「ツリーイング体験」、「軽登山」、「樽ヶ橋遊園冬イベント」のプログラムを実施し、入込客数の増加に一定程度寄与した。プログラム等の実施を通じ、ガイドの新たな活躍の場が設けられたものの、エリアを訪れる観光客の満足度の向上を図るためのスキルアップや体系的に学ぶ講習会等を開催することができておらず、来年度以降の課題としてガイドの人材育成に向けた取り組みを検討していきたい。
----------------	--

基本施策④ 辺地事業債等を活用したエリアの整備

主な 施策内容	辺地事業債等を活用して、老朽化した施設や景観の整備を実施します。
------------	----------------------------------



評価・課題 ○・△・×	○平成31年度（令和1年度）に予定していた樽ヶ橋遊園北側工区改修工事を竣工実施した。工事内容としては、ゴーカート広場に「いろいろテラス」と称し幼児向けの遊具と東屋などの休憩ポイントを設置、ゴーカートコースの整備、藤棚広場の改修等であり、今後は新たな遊戯エリアとしての活用が期待できる。
----------------	--

②活動内容

施設ごとの施策と進捗状況

(1)たるが橋観光交流センター

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 地域及び地域外との交流機能を促進することができる方策の充実
- 観光案内の充実に資する情報の確保
- 活性化を目的とした行政・地域と連携したイベントの企画と運営

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針	
			H30	H31	H32	H33	H34		取組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取組み状況(評価・分析)		達成度○△×
営業・販売	情報発信の充実	・ペーパーレスとして発信の基本を「胎内観光NAVI」とし、情報の充実及び各所・グループとの連携を図る。 ・「胎内観光NAVI」を英・韓・中国語の3ヶ国語対応に更新する。						①	胎内観光NAVIのHPを3ヶ国語対応に更新した。	○	今後も情報発信を充実させるため、ツール(チャンネル)を増やしていく。	SNSツールを活用し、新たなチャンネル(ラジオ放送)の取組を行った。	○	観光PR大使との連携により情報発信の充実を図る。
	取扱特産品の種類の充実	・胎内市内の取扱特産品の調査・検討を行い商品の充実を図る。 ・「そこに行かないと買えない」付加価値の連携強化を図る。						②	付加価値のある商品の検討を行い、地域おこし協力隊との協力を得て「まこもだけ」や「神楽米」の販売を行った。	○	継続的に新商品の導入に努めていく。	特産品においては増えていない実情があります。	△	置いているだけの特産品などについては整理しながら新たな付加価値を模索します。
	観光ツアーの充実	・キノトラベルなどと連携し、新規の胎内市観光ルートの醸成を図る。 ・関係先と連携を図り、同じツアー線り返さないよう企画する。						②	DCのルートづくりの足がかりとなるツアー(北前船・乙宝寺ツアーなど)を実施した。	○	観光ルートの発掘を積極的に行い継続していく。	新潟県・庄内エリアDCからのローカルガストロノミー紹介等を充実させた。(乙地区)	○	先のDCエリアや他の広域協議会との連携により、アクティビティ、食の企画提案を行う。
人材	案内の充実	・お客様への「わかりやすい」案内に努める。 ・樽ヶ橋エリア施設間の連携を強化し、漏れのない案内・紹介に努める。						①	「わかりやす」案内に努めた。下見を行い案内の向上を行った。	○	地域おこし協力隊などから情報収集を行い引き続き案内の向上に努める。	適宜対応しています。	○	引き続き。
	観光協会の人材育成・組織の強化	・定住自立圏、阿賀北広域観光圏づくり推進協議、新発田・村上エリアなどの枠組みへの参加により人材育成の強化を図る。 ・必要な研修会を実施し意識の向上を図る。						②	DCや阿賀北ガールへの参加など定期的に人材育成の強化に努めた。	○	継続的に人材育成と意識の向上を図る。	DCエリア等に参加し教育の強化に努めた。	○	引き続き。必要な研修会等を実施する。
	観光ボランティアガイドの人材育成	・胎内市を案内する観光ボランティアガイドの人材育成を行う。						③	人材育成に有効な方法を模索できず、実施できていない。	×	現場での研修会などを行いガイドのスキルアップや新規ボランティアガイドの育成に努めていく。	研修会などの実施は出来なかった。	×	有効な研修会などの調査する。
施設	電気自動車用充電設備の活用	・道の駅として電気自動車用充電設備のサービス向上を図る。						③	実施した。	○	今後も設備の活用を周知していく。	適宜対応した。	○	引き続き。

※DC(デスティネーションキャンペーン)とは
JRグループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーンのこと。
(新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン「日本海美食旅」)

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	11,946	修繕費・施設運営委託料など
H31	11,449	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H32	11,346	修繕費・施設運営委託料など
H33	40,146	修繕費・施設運営委託料など
H34	11,346	修繕費・施設運営委託料など

(2) 樽ヶ橋遊園

【基本施策】

- ① 観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ② 自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③ エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④ 辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 見るだけでなく、動物たちと触れ合える動物園

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針	
			H30	H31	H32	H33	H34		取組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取組み状況(評価・分析)		達成度○△×
営業・販売	周辺施設との連携による一般・団体客の獲得	・ロイヤル胎内パークホテルや市内施設と連携し、また、広域の保育園や小学校等にPRを強化し、来場者の誘客を図る。						①②	近隣約350(100→350)件の保育園・小学校にDMIによる誘客を行い利用団体が約2倍(20→44)に増えた。しかし、ロイヤルと誘客に繋がる連携が取れていない。	△	ロイヤルを中心とした胎内リゾート各施設と提携を行い来場者の誘客を図る。(例えばフィッシングパークに動物のエサ引換券を置くなど)	観光交流センターや美術館と相互のPRができるコラボイベントやチラシの共有等で連携を行った。団体の利用件数は昨年同様の44件であった。	○	引続き各施設との連携と団体への誘客を強化し来場者の増加を目指す。連携の浅い胎内リゾートエリアとのコラボプランを1件以上実施する。
	ポスター・リーフレット等、啓発物のリニューアル及び宣伝広告活動	・辺地債による改修計画と合せポスター・リーフレット等、啓発物のリニューアルを実施する。また、施設の改修後のリニューアルオープンに伴う宣伝広告活動に努める。						①	大型遊具の設置に伴いリーフレットをリニューアルした。	△	今後の改修計画に合せ、リニューアルオープンの準備を進めて行く(ポスター等の啓発物)。	R3年度のリニューアルオープンに向けた宣伝広告費等を予算化した。	○	リニューアルオープンに繋がる宣伝広告を実施する。
	シーズンパス券・ポイントカード等、優待特典等の導入	・来場者の満足度の向上を図るため、アンケートを実施し多くの意見を考慮して、年間シーズンパス券やポイントカードの導入について検討する。						③	来場者アンケートを実施した。シーズン券やポイントカードの導入を検討中。	△	リニューアルオープンに合せシーズン券やポイントカードを導入できるよう準備を進める。	イベント時にインタビュー形式で来場者から感想や要望の聴取を行った。	○	R3年度のリニューアルオープンに合わせて入園料等を見直し条例改正を行う。
施設	辺地債を活用した施設の改修を計画。	・辺地債を活用して、老朽化した管理棟や動物舎の改修、園内のインフラ整備・更新と機能強化を計画し、H33年度までの履行を目指す。						④	H30.3に樽ヶ橋遊園休憩所「たるる」が竣工した。	○	今後も園内の改修と整備を計画的に実施する。	H31年度に予定していた「南側工区改修工事」を計画通り実施した。	○	R2年度に予定している「北側工区改修工事」を計画的に実施する。
	自動販売機・売店コーナーの充実。	・園内散策の満足度を向上させるため、園内の動物が背景になったプリクラ写真コーナーや売店コーナー等の充実を図る。						③	改修工事による影響で自動販売機コーナー等を充実させることはできなかった。	×	H31年度に新しくできた休憩所「たるる」にアイスクリーム等の自動販売機を設置する。	「たるる」に飲料用自動販売機1台とやらのやんがチャ1台を設置した。稼働率は高い。	○	改修工事に併せ適切な配置で販売コーナーを設ける。
	シーズンオフ時の施設の有効活用。	・冬季期間中にスノーシューを履いて冬の園内を散策したり、普段見ることない冬の動物たちを観察するようなイベントを企画し、新たな施設の魅力を発見する。						③	改修工事による影響で冬季の施設活用を実施できなかった。	×	休憩所「たるる」で冬季の利用やイベント開催などシーズンオフ時の有効活用を検討していく。	冬季のイベントを初開催した。見込以上の450人の来園があった。「たるる」で写真展や七夕、「藤棚」でカブトムシ展など新規イベントを実施した。	○	「藤棚」のライトアップやオリンピックにちなんだ「たるりんピック」など新たなイベントを実施する。
人材	ガイド説明スタッフの育成。	・リゾート・樽ヶ橋エリアを含む、自然・歴史・文化・動物を含むガイド説明を行える人材の育成。また、新たな樽ヶ橋遊園の魅力やHPやブログ等で積極的に情報発信する。						③	保育園等の団体に動物ガイドを5回行った。月2~3回のペースでブログやFBを更新し情報発信した。	△	ボランティアガイドの方と協力してガイドの人材育成を検討していく。今後もブログを積極的に更新していく。	ボランティアの方と協力してイベントを開催した。ブログを週1回のペースで更新した。アクセス数は年間3,000件程	○	ボランティアの方々と協力して、来場者向けのガイド実施回数を増やしていく。

※FB…フェイスブック

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	192,358	運営需要費、施設改修工事費など
H31	154,088	運営需要費、施設改修工事費など
H32	519,357	運営需要費、施設改修工事費など
H33	14,657	運営需要費など
H34	14,657	運営需要費など

(3) 黒川郷土文化伝習館

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 誰でも気軽に楽しめる体験プログラムの充実化を図る
- 単なる生涯学習施設ではないスタッフの対応と展示の面白さを追及

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針	
			H30	H31	H32	H33	H34		取り組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取り組み状況(評価・分析)		達成度○△×
プログラム	新たなプログラム(見学・体験)の開発	・黒川城、蔵王山(親子登山、PTA登山、ふるさと体験学習)の体験登山の定着化						②	PTA鳥坂山登山を実施	○	継続して実施する。	ふるさと体験学習の鳥坂山学習会	○	継続して実施する。
		・子ども会対象の体験教室メニューの開発。 ・子ども向け民具体験シートの更新(雪国体験シートの追加) ・テーマ別スライド(北前船と胎内市)の作成。出前講座の開催。						②	市内小学校向けに体験シートを作成し、学習会等を実施した。	○	国民文化祭新潟開催を契機に北前文化を発信する。	10月に国民文化祭新潟開催に伴い、美術館と連携して、北前文化・ごぜ文化を発信した。	○	継続して関連事業を実施する。
		・H30年度美術館事業と連携したイベントの実施						②	美術館企画展に合わせて民具体験・縄文体験を実施。	○		美術館企画展に合わせて民具体験・縄文体験を実施。	○	継続して関連事業を実施する。
	企画展の開催、展示替えの実施	・市民から寄贈された民具の展示、公開 ・H30年度は隣接する胎内市美術館と連携企画展を予定(胎内市船絵馬展等)						②	民具の公開を実施。	○	H31年度以降は美術館の縄文・弥生展に合わせて企画展を実施する。	美術館の縄文・弥生展に合わせて企画展を実施した。	○	継続して関連事業を実施する。
		・民具体験コーナーの充実(新寄贈民具、胎内ゆかりの民具体験コーナー)						②	民具体験コーナーを充実した。	○	よりわかりやすい説明板を設置する。	小学生向けのわかりやすい説明板を設置した。	○	よりわかりやすい説明板を設置する。
胎内市の文化財・遺跡を紹介するツアーの実施	・蔵王山登山(6月)、太古のロマン大波石ウォーキング(7月)、米沢街道、大樺を歩く(9月)、北前船文化巡り(10月)、黒川氏の軌跡をたどる(黒川城、黒川館跡、家臣団居館跡等)(11月)						②	今年度は、樽が橋エリア周辺の文化財巡りを実施。	○	H31年度以降は遺跡めぐりや、隠れた文化財の見学会等を実施する。	廻船問屋めぐりや、文化財の見学会等を実施した。	○	遺跡めぐりや、隠れた文化財の見学会等を実施する。	
体験プログラムの更なるPR	・市内小中学校への体験プログラム資料の配布 ・雑誌、書籍等での施設の体験内容の紹介						②	縄文ジュニアガイドを作成し小中学校に配布	○	小中学校の出前授業を実施する。	小中学校の出前授業を実施した。	○	引き続き小中学校の出前授業を実施する。	
施設	胎内市の歴史文化を発信基地としての認知度の向上	・NHK等で体験学習の紹介						①	NHKのニュースや地元新聞社が報道した。	○	積極的のPRしていく。	ニュース等で体験活動の様子が紹介された。	○	積極的のPRしていく。
		・東京国立博物館、フランスパリ博物館等への出展(縄文時代漆製品) ・市報たいない「胎内市の歴史探訪」での紹介						①	・東京、フランスの博物館等へ出展(縄文時代漆製品) ・市報たいないでの紹介	○	県外、国外の展覧会に出展し、PRする。	長岡市馬高縄文館や津南町なじよもの展覧会に出展しPRした。	○	国外の展覧会に出展し、PRする。
	文化財総合案内看板の設置	・隣接する美術館サインと併せた看板を制作予定。						①	本年度は計画のみ	△	H31年度に制作する。	手作りの看板を制作した。	○	R2年度に制作する。
人材	解説や指導を行う市民の育成と確保	・市民を対象にした観光ボランティアガイド育成事業を実施予定。 ・隣接する美術館と併せて、サポーターズ倶楽部を設立したので、わらじづくり教室などのイベント、草刈整備、ガイド育成講座等、様々な事業の展開。						③	観光ボランティアガイド育成事業を実施して、サポーターズ倶楽部によるわらじづくり講習会を実施した。	△	H31年度以降も講座を開催する。	美術館と連携して歴史講座を開催した。	○	R2年度以降も講座を開催する。

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	2,581	運営需要費など
H31	2,581	運営需要費など
H32	2,581	運営需要費など
H33	2,581	運営需要費など
H34	2,581	運営需要費など

(4)胎内市美術館

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 胎内市の古代から現代までの美術品を鑑賞できる美術館
- 子どもから大人まで気軽に訪れ、入りやすい美術館
- 芸術愛好家が集う、市民に開放された芸術文化交流施設
- 樽が橋エリア芸術文化ゾーンの魅力向上に寄与する美術館

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針	
			H30	H31	H32	H33	H34		取組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取組み状況(評価・分析)		達成度○△×
プログラム	樽ヶ橋エリア内の観光施設、文化施設、自然資源等との連携	・樽ヶ橋自然観察会7/7(昆虫・植物)	→					②	実施し、好評を得た。	○	H31年度も継続して実施する。	実施し、好評を得た。	○	令和2年度も継続して実施する。
		・黒川郷土文化伝習館の民具体験とあわせて美術館作品鑑賞の実施	→					②	市内小学校の3年生が訪れた。	○	H31年度も継続して実施する。	実施し、好評を得た。	○	令和2年度も継続して実施する。
	地域に密着、貢献した企画展の開催、展示替等の実施	・春の特別展「早津 剛展」4/28～6/24 ・夏の特別展「伊藤省風展」6/30～8/19 ・秋の特別展①「金子ボボアート展」9/1～10/14 ・秋の特別展②「佐藤美紀展」10/27～12/22 ・冬の特別展「県展・芸展作家展in胎内市Ⅱ」1/12～3/17 ・天下太平くん原画展の開催	→					②	予定どおり実施し、昨年度と比べ、入館者数が増加した。	○	H31年度も年5回の企画展を実施する。	・春「長谷川朝子展」 ・夏「坂爪勝幸展」 ・秋①「北前船展」 ・秋②「大平寛展」 ・冬「県展・芸展作家展」	○	R2年度も年5回の企画展を実施する。
	胎内市の美術作品を紹介するツアーの実施	・胎内市の美術品鑑賞ツアー 9月中	→					②	作品解説会は実施したが、ツアーは未実施。	△	H31年度以降に彫刻巡り等を実施する。	10月に廻船問屋と船絵馬巡りを実施した。	○	令和2年度も継続して実施する。
	アート体験プログラムのPR	・レザークラフト、昔の遊び体験、スノードームづくり、つるし雛づくり、まが玉づくりなどを広報、新潟日報等でPRする。	→					②	広報、新潟日報等でPRし、参加者が増加した。	○	H31年度も継続して実施する。	広報、新潟日報等でPRし、参加者が増加した。	○	令和2年度も継続して実施する。
	芸術作家の育成、学校美術担当教員による研究	・市内、市外小中学校美術担当職員との研究会、説明会の開催 ・ジュエリーデザイン教室の開催 12/21～22	→					③	生徒の美術館見学に先立ち、担当教諭と説明会を行う。 実施し好評を得た。	○	H31年度以降も実施する。 H31年度も実施する。	美術館見学に先立ち、担当教諭と打ち合わせを実施。 モザイクペンダント教室を開催した。	○	令和2年度も継続して実施する。 令和2年度も継続して実施する。
施設	施設前庭、周辺環境の整備	・胎内市美術館サポーターズ倶楽部の協力により前庭、周辺環境整備の整備。施設窓ガラス拭き。花壇の整備等を行う。	→					③	胎内市美術館サポーターズ倶楽部の協力により整備された。	○	H31年度以降も実施する。	胎内市美術館サポーターズ倶楽部の協力により整備された。	○	令和2年度も継続して実施する。
	展示収蔵室の維持管理	・収蔵室の点検作業。適切な湿度、温度管理を行う。	→					②	適切に維持管理を実施。	○	H31年度以降も実施する。	適切に維持管理を実施。	○	令和2年度も継続して実施する。
	美術館案内看板の設置	・国道7号線付近に看板を設置する。	→					①	企画展ごとに期間限定で誘導看板を設置した。	△	H31年度以降に恒久的な看板を設置する。	自前で企画展ごとに期間限定で誘導看板を作成し設置した。	○	令和2年度も継続して実施する。
人材	解説や指導を行う市民の育成と確保	・胎内市美術館サポーターズ倶楽部で定例会を開催し、人材の育成事業等を実施する。	→					③	美術館サポーターズ倶楽部定例会を開催し、人材の育成事業等を実施した。	○	H31年度以降も実施する。	美術館サポーターズ倶楽部定例会を開催し、人材の育成事業等を実施した。	○	令和2年度も継続して実施する。

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	9,565	運営需要費など
H31	9,565	運営需要費など
H32	9,565	運営需要費など
H33	9,565	運営需要費など
H34	9,565	運営需要費など

(5)クアハウスたいない

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 胎内リゾートの活性化(魅力向上)へ向けた『情報発信・誘引』

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針		
			H30	H31	H32	H33	H34		取組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取組み状況(評価・分析)		達成度○△×	
営業・販売	胎内リゾート産の加工品等のPRおよび販売	・胎内ジャージー商品(牛乳・ヨーグルト)、胎内ハムの販売 ・胎内市及び近隣の特産物(加工品)の販売。	→	→	→	→	→	③	胎内ジャージー牛乳や胎内ハム等の胎内市特産品を販売し好評であった。	○	継続して特産品の販売を実施する。	胎内ジャージーブランド品が製造中止となったため、販売できなかった。	△	限られているが特産品を継続して販売する。常温販売中心の商材を調査・検討し販売する。	
	胎内リゾート施設利用者へ、クアハウスたいない利用割引サービス	・橈形山脈山開き登山、トレッキングツアー参加者⇒入浴割引100円引き ・胎内市観光大使やらにゃん割引⇒入浴割引(大人300円引き・小学生無料) ・SDカード、ニピイカード、各100円引き ・クアハウス割引キャンペーンとして毎月7のつく日と11日クアハウス利用(プール+お風呂)⇒大人700円 ・胎内リゾート施設利用で入館料割引	→	→	→	→	→	②③	実施した。各割引サービス全体の利用実績(H31.1末時点)は前年比:約2%の増であった。	○	利用者の増加に繋がる企画として継続して実施する。	実施した。各割引サービス全体の利用実績(R2年2月末時点)前年比:5.1%	○	利用者の増加に繋がる企画として継続して実施する。	
	新規企画の実施	・毎月第2土曜日ファミリーDay(中学生以上1名700円、小学生2名まで無料) ・5月5日子供の日⇒小学生プール利用入館料350円	→	→	→	→	→	②③	実施した。子どもを対象とした企画がファミリー層に喜ばれている。	○	継続して実施する。	実施した。R2年2月末時点の利用数 前年比:100%(173件)	○	継続して実施する。	
		・風呂の日割引サービスの検討。(毎月)	→	→	→	→	→	③	改修工事の影響で実施できなかった。	×	平成31年度以降に実施できるよう検討する。	検討した結果。お風呂の設備に規模に限りがあり断念した。	×	R2年度以降は別の方法も検討していく。	
	新たな観光客や新規会員の誘客対策	・スタンプカードの実施。 ・日帰り温泉施設紹介(割引など)の雑誌等の参加。(民間活力の利用に関連)	→	→	→	→	→	③	Pカードを実施した年間120件位の利用があり好評であった。雑誌等での宣伝広告は少なかった。	△	利用者の増加に繋がる企画として継続して実施する。今後はWebでの宣伝活用を検討する。	Sカード利用者前年並みであった。(年間57件)胎内観光NAVI・komachi webwを活用したが宣伝効果はすくなかった。	△	利用者の増加に繋がる企画として継続して実施する。	
	民間活力の利用	・H29年度より指定管理期間 5年間更新。(次回:H34年度予定)	→	→	→	→	→	③	指定管理制度2年目	○	継続	指定管理制度3年目	○	継続(4年目)	
		・売店販売商品の充実。(GW~夏休み繁忙期に対応) ・秋田物産の開催。	→	→	→	→	→	①	利用者から要望のあった稲庭うどん等の「秋田物産」の販売を実施し好評であった。	○	今後も利用者の要望に合う商品の充実を図る。	GW・夏休みに向けて売店商品の充実を実施した。(子供向けお菓子・昼食用カップめん等)秋田物産を開催、稲庭うどんが好評で完売する。	○	継続	
		・会員入会及び会員更新時に優待券進呈 ⇒ 1カ月に1枚 ・夏休み子供会員(限定一カ月)の実施(一カ月3,000円) ・館内修繕に伴う会員料金(長期休館の場合)の設定。 ・入浴回数券発行の検討。	→	→	→	→	→	③④	実施した。夏休み子供会員券においては13件(昨年比-3件)であった。 必要がなかったため実施しなかった。 条例の改正が必要のため実施できなかった。	○ × ×	新規会員の増加に繋がる企画として継続的に実施する。 必要な場合は検討する。 平成31年度以降に実施できるよう検討する。	優待券・夏休み子供会員券の販売(前年並の12件)を実施した。 必要がなかった。 検証した結果、要望者2件程度のため実施しなかった。	○ - -	継続 必要な場合は検討する。 別のサービスも検討する。	
	施設	(胎内リゾート利用者へ)レジャーおよびレストスペースの推進	・トレーニングルームの活用(サークル) ・ヨガ教室(毎週火曜日)、バレエ教室(毎週木曜日)、新しいサークルの勧誘(金曜日Pm6時以降)	→	→	→	→	→	③	各教室を開催した。バレエ教室ではファミリーの利用が増えた。新規で器械体操教室を開催した。	○	今後もトレーニングルームを有効活用していく。	継続してダンス教室等のサークルを開催したが、新たなサークルの活用はなかった。	○	今後もトレーニングルームの有効活用を行う。
		計画的な施設改修	・辺地債を活用した施設改修工事を予定。(H30年度は秋季の予定)	→	→	→	→	→	④	実施した(電気・空調・ポンプ等の設備改修)10月~2ヶ月休館	○	改修計画の変更に伴いH31年度以降の改修は未定	H31年度の改修計画はありませんでした。	-	R2年以降は未定。
人材	胎内リゾートへのコンシェルジュ機能を向上	・胎内リゾート各施設の観光情報・催し等の案内ポスターを掲示。 ・飲食を希望される来館のお客様に「里山食堂」を紹介。	→	→	→	→	→	①②	胎内リゾートへの誘客としてポスターの掲示やチラシの配布を行った。	○	他の施設へも今後は積極的に案内していく。	胎内リゾート及び県内下越地域の観光・催し情報の掲示は実施した。里山食堂の利用案内と里山食堂利用者に対するクアハウス入館割引を実施した。(胎内リゾート利用クアハウス入館者149件)	○	胎内リゾート施設利用のお客様に対するクアハウス入館料割引案内を継続実施する。	

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	185,267	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H31	38,344	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H32	43,303	修繕費・施設運営委託料など
H33	43,303	修繕費・施設運営委託料など
H34	43,303	修繕費・施設運営委託料など

(6)越後胎内観音

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

●歴史文化財の管理

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針	
			H30	H31	H32	H33	H34		取組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取組み状況(評価・分析)		達成度○△×
PR	パワースポットとしての情報発信	・パワースポットやご利益などの観光的要素を盛り込みながら情報発信する。	→	→	→	→	→	①	実施した。(年越しライトアップや情報誌WEEKなどへの掲載)	○	今後も情報発信していく。	実施した。(年越しライトアップやスカパーテレビの取材)	○	今後も情報発信していく。
	歴史文化財としてPR	・昭和42年の羽越水害の殉難者の冥福と災害復興等を祈って建立された歴史的経緯を鑑み、歴史文化財と位置づけてPRを行う。	→	→	→	→	→	②	実施した。(春・秋霊祭や法要、大祭など)	○	今後も継続していく。	実施した。(春・秋霊祭や法要、大祭など)	○	今後も継続していく。
施設	敷地内の整備	・現在使用していない売店建物について、民間事業者の運営による有効活用を図る。(飲食の提供等)	→	→	→	→	→	①	有効活用できなかった。	×	有効活用の方法を引き続き検討していく。	有効活用できなかった。	×	活用するにはある程度の改修工事が必要であり、市の財政状況から難しい。別な方法の検討も必要。

(7)楡形山脈・蔵王山塊

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

●日本一小さい山脈の登山道の管理と利用者への安全を保つ。

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針	
			H30	H31	H32	H33	H34		取組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取組み状況(評価・分析)		達成度○△×
ツアー・整備	蔵王山塊と楡形山脈の登山ルート活用	・蔵王山脈・蔵王山塊や楡形山脈を散策するツアーを実施する。	→	→	→	→	→	①	楡形山脈のツアー(春・秋)を実施した。	○	今後もツアーを継続していく。	蔵王山塊と楡形山脈の軽登山ツアーを6回企画し4回実施40名参加(2回は悪天候中止)	○	今後も年6回程度のツアーを継続していく。
	樽ヶ橋を拠点とした周回コースの整備	・関沢周辺登山道の整備(再測量等)。	→	→	→	→	→	①	営林署から指示のあった再測量を完了した。	○	完了	完了	完了	
	絶景ポイントと看板等の整備	・登山道の一部(市ノ沢コース)廃道に伴う返地申請を行う(看板等の整備のため)。	→	→	→	→	→	④	市ノ沢コースの返地申請を完了した。	○	完了	完了	完了	

(8)樽ヶ橋河川公園

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 河川公園の活用を充実する。

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針	
			H30	H31	H32	H33	H34		取り組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取り組み状況(評価・分析)		達成度○△×
活用	イベントの開催	・樽ヶ橋エリアの周辺施設や胎内リゾートエリアと連携したイベント(胎内川新緑まつりなど)を開催する。						①	新緑まつりや楡形ウインドトレイル等、河川公園を利用したイベントを実施した。	○	河川公園の利用するイベント等を今後も検討する。	トレイルランを実施した。新緑まつりは中止とした。一部のイベントを実施できなかった。	△	8/15の温泉祭りを新たに河川公園を会場に検討する
	健康ウォーキングコースでの利用	・健康ウォーキングコースなどの利用を推進する。						①	健康づくり課が主催する市民ウォーキングイベント(100名参加)を実施し好評であった。	○	ウォーキングポイントとしての魅力をPRし推進を図る。	HOTほっとが主催する美化活動を実施し、参加特典で樽ヶ橋遊園の優待を図った。	○	引き続き利用促進を図る。
施設	バーベキュー広場・レクリエーション設備の導入	・イベント以外の通年の活用策を検討する。(バーベキュー広場、簡易レクリエーション設備の導入)						③	一部実施(バーベキュー)しているが利用が少ない。検討が必要。	△	より有効的な活用を検討していく。	利用拡大を図るため、用具のレンタルを導入した。	○	引き続き利用促進を図る。
	河川公園への誘導・活用	・観光交流センター駐車場から河川公園に通じる階段通路を有効に活用し、河川公園への出入りにおける、エリア内の動線を誘導する。						④	河川公園へ繋がる階段に案内看板を設置した。以前より多くの人々が往来するようになった。	○	より有効的な活用を検討していく。	河川公園へ繋がる階段にミストシャワーを設置し猛暑対策を実施した。	○	引き続き利用促進を図る。

(9)有楽荘 里山食堂

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 樽ヶ橋エリアに訪れた人々への飲食の提供。

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の		R2年度以降の活動方針	
			H30	H31	H32	H33	H34		取り組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取り組み状況(評価・分析)		達成度○△×
営業	飲食の提供	・胎内産食材を使用したメニュー設定を行い、リピーターに結びつける。 ・お客様にスムーズに食堂まで入って頂ける導線づくり。						①②	メニューの見直しを行い、以降はお客様が増加した。当初から課題となっていた誘導看板を設置することができなかった。	△	今後も胎内産食材を使用したメニューの提供に努める。特産品販売を検討する。H31年度に看板を設置する。	新メニューの追加を実施した。スタンプカードの導入を実施したが利用は少なかった。看板の設置はできなかった。現指定管理者が今年度で終了した。	×	R2年度から新たな指定管理者での運営となる。クーポン等で連携し、エリアの食堂として誘客の拡大を目指す。

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	11,946	施設運営委託料など
H31	11,449	施設運営委託料など
H32	16,000	施設運営委託料など
H33	16,000	施設運営委託料など
H34	16,000	施設運営委託料など

(10)その他

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 樽ヶ橋エリア全体の景観整備

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					関連する基本施策	H30年度の		H31年度(R1年度)の			R2年度以降の活動方針
			H30	H31	H32	H33	H34		取組み状況(評価・分析)	達成度○△×	H31年度(R1年度)の活動方針	取組み状況(評価・分析)	達成度○△×	
宣伝	フルーツパーク・シンクルトン記念館等周辺施設との連携	・フルーツパーク、シンクルトン記念館・石油公園、土地改良区の施設・公園などの施設をエリアの観光施設・観光スポットとして組み入れ、施設間の連携を強化し、誘客に努めていく。						②	シンクルトン記念館と黒川郷土文化伝習館とが連携してPRを実施した。他の施設と連携していない。	△	連携した体験イベントを強化していく。	観光ビジョンによる連携の仕組みにより、周遊コース等を設定し連携を深めた。	○	令和2年度も継続して実施する。
	馬頭観音のPR	・下赤谷の鳥坂神社(馬頭観音)の歴史をPRする。						②	ポスターの作成やSNSを活用しPRを実施した。年々参加者が増えている。	○	今後も継続してPRしていく。	復活した2015年当初は200名だった参加者が今年度は900人まで増加した。イベントとして定着し年々参加者が増加している。	○	令和2年度も継続して実施する。
景観	藤の整備	・樽ヶ橋周辺の藤を整備する。						④	ボランティア団体(樽ヶ橋ゆるゆる隊)と協働で整備を実施した。周辺の藤の整備については検討が必要である。	△	今後も継続していく。	樽ヶ橋遊園内の藤棚を辺地債を活用した改修工事で石柱や床などのハード面を整備した。	○	樽ヶ橋遊園以外のエリア全体の藤の整備も検討する。
	エリア全体の景観整備	・樽ヶ橋エリア各施設が当番制でゴミ拾いや掃除を実施し、来場者が気持ちよく利用できるよう景観の整備に努める。						④	エリアの各施設が当番制で掃除を実施した。	○	今後も継続していく。	エリアの各施設が当番制で掃除を実施した。	○	令和2年度も継続して実施する。

4 辺地事業債を活用した計画(予定)

注意:計画(予定)は、H30年3月現在(当初)のものであり、財政状況及び辺地計画の見直しなどの理由により、予告なく変更される場合がある。

●観光交流センター

目的:新規機能の付加

内容:駐車場の改修及び拡張、園路整備による機能強化

●樽ヶ橋駐車場(クアハウス前)

目的:施設更新

内容:老朽化した駐車場の更新

●樽ヶ橋遊園

目的:施設更新・新規機能の付加

内容:老朽化した園内建築物の建替え等の施設更新

雨天時の利用機能付加、動物舎の展示機能強化、園内庭園更新

●クアハウスたいない

目的:施設の機能維持

内容:機能維持を目的に老朽化した設備機器等を大規模に改修

表

R2年3月 時点での取組み状況

観光地点名	工事・委託名	経過	計画(予定)					H31(R1)年度の 取組み状況	H31年度以降 の活動方針
			H29	H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)		
観光交流センター	樽ヶ橋遊園園路整備工事	→	→					完了した。	
樽ヶ橋駐車場 (クアハウス前)	駐車場整備工事					→		未実施	H31年度の予定を H33年度に計画変 更
樽ヶ橋遊園 (別紙、全体計画図有)	大型複合遊具設置工事	→						完了した。	
	屋根付休憩施設新設工事		→					完了した。	
	園内改修工事 ・H31南側工区 ・R2北側工区			→	→			南側工区を完了 した。	計画を継続する
	管理棟・動物舎改修工事				→			未実施	計画を継続する
	インフラ整備工事		→	→	→			一部完了した。	計画を継続する
	設計業務委託	→	→	→	→			一部完了した。	計画を継続する
クアハウスたいない	衛生給排水設備工事		→					完了した。	
	電気設備工事		→					完了した。	
	建築工事		→					完了した。	
	設計業務委託	→	→					完了した。	

【参考】

平成31年度(令和1年度) 樽ヶ橋遊園の整備状況

工事名:樽ヶ橋遊園南側工区改修工事 R1.8~R2.3



カナル(水路)の改修、ポンプピット設置など



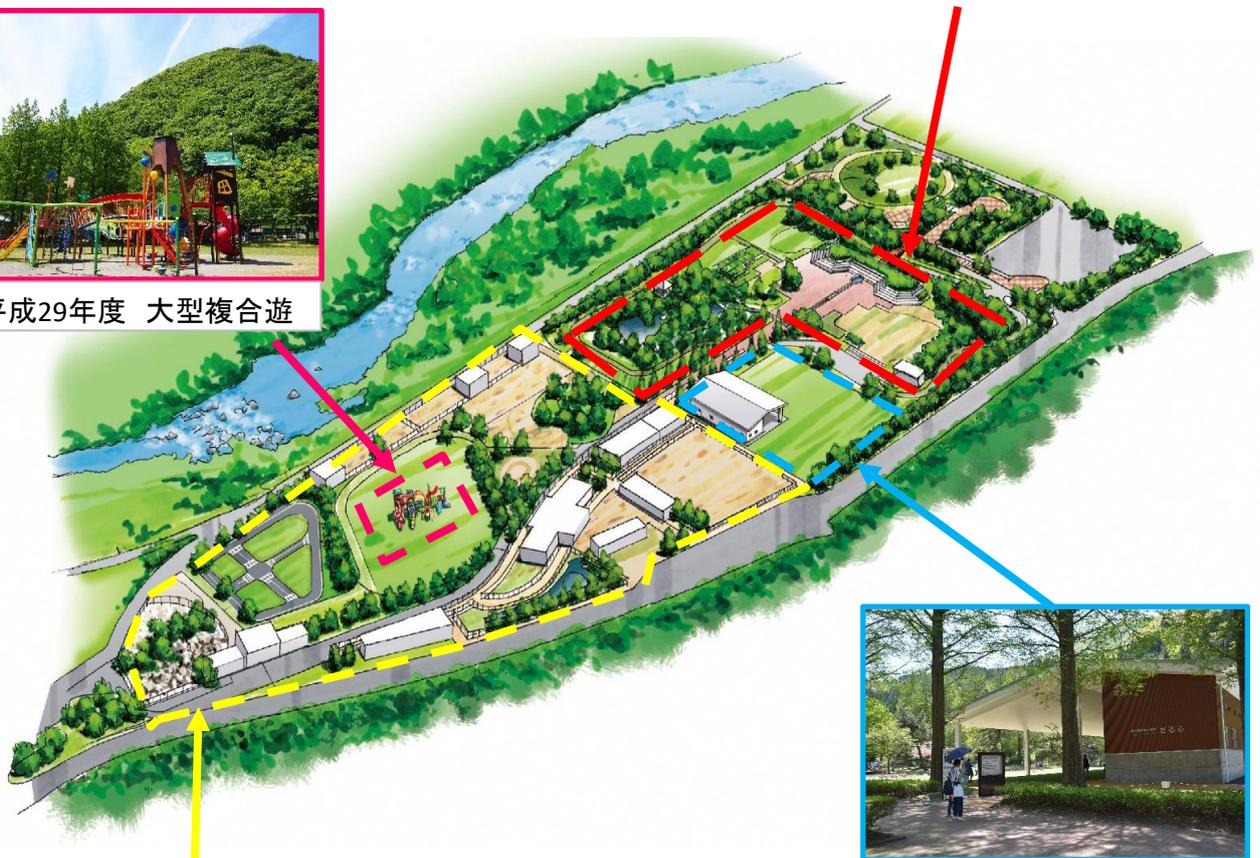
藤棚の改修(石柱の強化、階段、床の改修など)



いろいろテラス、ゴーカートコース柵、東屋設置な



平成29年度 大型複合遊



令和2年度(予定) 北側工区改修工



平成30年度 休憩所「たる